

ReStart: Kyoubundo

2010.08

教文堂の新たな挑戦

システム刷新、そのメリット

教文堂では、CTP 設備の老朽化、最新 DTP ソフトや PDF データへ対応すべく、プリプレスシステムを全面刷新いたしました（2010 年 8 月設置）。

CTP 導入から 7 年に渡る実績や経験を基に、国内だけではなく、世界の印刷事情にも目を向け、一年の期間をかけて検討を重ね、アグファゲバルト社（Agfa-Gevaert, 本社ベルギー）製^{*注}のプリプレスシステムを導入することとなりました。

新システム導入により、弊社だけではなく、お客様にプラスとなることが多くあります。それらメリットを 3 つの大きな柱にまとめ、ご紹介いたします。

①環境対応印刷

現像レス刷版「:Azura TS」による、現像廃液の削減が可能になりました。

②高精細印刷仕様

AM/FM スクリーニングを合わせた「:Sublima」による、240 線の高精細印刷が可能になります。弊社では今後、モノクロ、カラー問わず、240 線の高精細印刷を標準で行います。

③世界標準の Rip 処理

世界標準の Rip コアである Adobe 社「APPE ver.2」の採用により、PDF での出力結果が安定します。さらに、DTP の最新アプリケーションへの対応（CS5）が可能です。

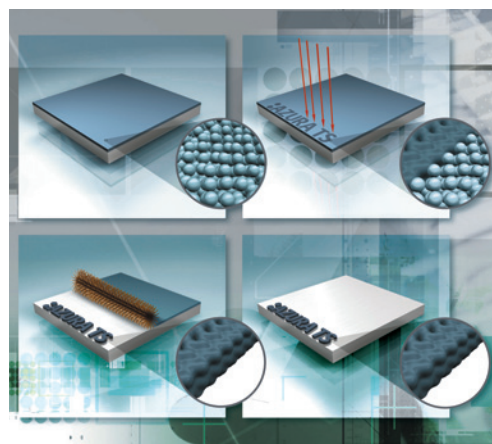
また色校正（DDCP）と印刷のマッチングも見直しを行います。同時に、デジタルコンセンサス（コニカミノルタ社）や平台校正に匹敵する、網点再現の可能な DDCP システムも導入いたしました。

ぜひ 1 度、その品質をお確かめください。

今後もこの小耳ニュースを通じ、新システムの情報を発信していきます。この逆境の情勢だからこそ、敢えて「ReStart」を行う。少数精鋭の集団だからこそできる挑戦であると考えております。教文堂の「ReStart」に、ご期待ください。



^{*注} アグファ社は、銀塩カメラに詳しい方ならご存じかと思いますが、FUJIFILM、KODAK と並ぶ、世界の三大感光材メーカーです。日本でのシェアはまだ低いです、世界全体では 3 割以上のシェアをもち、中でも環境対応印刷関連製品では、トップシェアを誇っています。



▲「:Azura TS」の処理工程図。上段は従来と同じ、CTP の焼き付け工程です。下段が「:Azura TS」の特徴である、現像液を用いずに非画線部（不要部分）の塗料を剥がす処理です。

